

バリューチェーン全体における脱炭素目標を 10 年前倒し  
2040 年 CO<sub>2</sub> 排出量ネットゼロを目指す  
気候変動対応におけるグループ全体での中長期目標を更新

アサヒグループホールディングス株式会社(本社 東京、社長 兼 CEO 勝木敦志)は、気候変動への対応におけるグループ全体の中長期目標を更新し、2040 年までにバリューチェーン全体で CO<sub>2</sub>排出量ネットゼロを目指します。この更新により、従来から設定していた脱炭素目標の達成期限を 10 年前倒しすることになります。新たな目標は、科学的根拠に基づく SBTi<sup>※</sup>のネットゼロの定義に沿ったもので、バリューチェーン全体である、Scope1,2,3 の CO<sub>2</sub>排出量が対象です。

※ SBTi: Science Based Targets Initiative

アサヒグループは、意欲的な目標設定と気候変動に対する取り組みの推進を通じて、パリ協定で示された「1.5 度目標」の早期達成に貢献します。当社は CO<sub>2</sub>排出量削減に向け、グループの全生産拠点における再生可能エネルギー由来の電力の 100%使用を目指しています。また、グリーン熱の利用拡大、CO<sub>2</sub>回収などの脱炭素技術の開発などにも取り組んでいます。この流れを加速させ、2030 年までの目標と、新たな 2040 年までの目標の達成を目指します。今後は、アサヒグループの CO<sub>2</sub>排出量の大部分を占める Scope3 の排出量削減に向け、サプライヤーやパートナーとのさらなる連携を図ります。

■代表取締役社長 兼 CEO 勝木敦志コメント

私たちが直面している気候変動の課題は、アサヒグループだけで解決できるものではありません。だからこそ、地球や社会の持続可能性を高めるため、そして2040年までにアサヒグループのバリューチェーン全体でネットゼロを達成するため、外部パートナーとの協力関係を深めることが不可欠です。共創によってポジティブなインパクトを生み出せるという確信のもと、技術革新と持続的なパートナーシップの構築を推進していきます。

当社のバリューチェーン全体の CO<sub>2</sub>排出量のうち、自社の製造工程以外のは大半は農産物原料、容器包装、輸送に由来するものです。Scope3 排出量の削減に向けたサプライヤーやパートナーとの強固な関係づくり、産学連携による革新的な技術の開発に取り組んでいます。

アサヒグループは、100 年以上にわたり、自然の恵みと自然の力によって、「期待を超えるおいしさ」を生み出してきました。人と人・自然・コミュニティ・社会とのより良いつながりを通じて持続可能な未来の実現を目指します。

<参考>アサヒグループのサステナビリティの取り組み

<https://www.asahigroup-holdings.com/sustainability/index.html>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

アサヒグループホールディングス株式会社 広報部門 電話:03-5608-5126